

講義科目名称： 総合実習Ⅱ

授業コード： 2230500700

英文科目名称： Comprehensive Nursing PracticeⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、◎石田和子、◎高柳 智子、◎常盤洋子、◎大久保明子、◎小長谷百絵、◎谷本千恵、◎高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>◎岡村 典子 (基礎看護学) 216 ◎石田 和子 (成人看護学) 317 ◎高柳 智子 (成人看護学) 203 ◎常盤 洋子 (母性看護学) 320 ◎大久保 明子 (小児看護学) 207 ◎小長谷 百絵 (老年看護学) 213 ◎谷本 千恵 (精神看護学) 312 ◎高林 知佳子 (地域看護学) 304 実務経験のある教員が担当します</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 ○ ○ ◎ ○ ○ ○</p>
------	---

到達目標	<p>1. 地域文化ならびに看護の対象となる人々の生活と健康を包括的に理解する。</p> <p>2. 地域の包括的なケアシステムと多職種チームアプローチにおける看護師の役割を説明できる。</p> <p>3. ケアの対象をとりまく地域のケアシステムの全体性・継続性・集学性を体験的に理解し、医療・ケアチームにおける看護の専門的実践能力を習得する。</p>
授業概要	<p>個々の学習課題に応じて選択した領域において、地域文化を基盤とし、そこで暮らす看護の対象となる人々の生活と健康を包括的に理解し、それらを支える地域の包括的なケアシステムと多職種チームアプローチ、看護師の役割について実習を通して学ぶ。</p> <p>学生は実習コースを選択し、当該コースの実習目標・内容、場所、スケジュールによって実習する。なお、総合実習Ⅱでは、総合実習Ⅰで選択したものと同一コース（領域）において実習を行う。</p>
授業計画	<p>授業内容</p> <p>授業形態：実習（対面） 学習課題・学習内容：当該コースの実習目標・内容、場所、スケジュールによって実習する。 実習期間：3日間程度（臨地）</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：1～3年次に受講した講義・演習・実習での学習内容や自己の課題、看護技術到達度リストなどを振り返り、各領域の実習目標を達成するために関連する知識・技術の復習を行う。</p> <p>事後学習：実習記録やレポート等として学習内容を整理し、学習上課題となった知識や技術を自己学習する。</p> <p>*その他、各実習コース（領域）で指定された事前・事後学習を実施する。</p>
評価方法、評価基準	<p>到達目標1～3は、実習に取り組む姿勢、実習記録物、成果報告発表、レポートなどにより総合的に評価する。評価は実習コースの実習担当教員が責任を持つ。</p>
必携図書	<p>特に指定しない。</p>
参考図書・資料等	<p>適宜紹介する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>実習オリエンテーション時に示されるルールにより、実習担当教員の指示に従って実習する。</p>
教員からのメッセージ	<p>地域志向科目の一つです。1年次のふれあい実習での地域の人々の暮らしについての学びを振り返り、地域で暮らす人々の生活や健康を支えるという視点から、看護師として何が出来るかを考えながら実習してください。</p>
オフィスアワー	